



古来より伝わる安住の地で
地域農業を守りたい

農事組合法人アグリ安食西



導入を進める大型機械を効率化を行い、生産品目の品質向上や持続可能な農業を目指していきます。

入を進める大型機械を有効に使うことで、更なる効率化を行い、生産品目の品質向上や持続可能な農業を目指しています。



「みずかがみ」を原料とした地酒『阿自岐乃里』と黒大豆・みずかがみ麹を原料とした『阿自岐乃味噌』。地区内外に関わらず当法人へお声掛けいただければ販売いたします。

豊郷町安食西の農地を担う

モットーは細やかな作業

今後の目標と課題

平成25年に設立した当法人では、組合員52人、オペレーター12人で豊郷町安食西の農地を担っています。古来より水や食べ物が豊富で安住できる土地と伝わるこの地域の農業を守り高めていくため、メンバーが一丸となつて農業に取り組んでいます。水稻や小麦、大豆といった水田作物のほかに、タマネギやブロッ

コリーなどの園芸作物にも力を入れています。また6次産業としては、生産した米を使って日本酒を、黒豆を使って味噌を委託生産し、主に地元住民の方々にご好評いただいています。

私たちが農業に取り組む上でモットーは、細やかな仕事をすることです。除草作業や水管理など、おおざつぱでも何とかなるかもせんが、丁寧に作業を行うことで、より品質が高くおいしい農産物ができると考えています。

今後は、今まで以上に良いものを作ることで売り上げを伸ばし、組合員へ還元していきたいです。そのために、當農計画の効率化を図るクラウド型當農管理システム「Z—G—S」や水栓管理の大幅な省力化を行う自動給水栓など、いわゆるスマート農業の積極的な導入を検討しています。また、課題として、後継者不足が当法人でも挙げられます。現在メインとなる世代は揃っているものの、若い世代の人材が少ないので、早急に対策を講じる必要があります。「私たちの地域の農業は私たちが守る」といった熱い思いを持った方がおられたら、大歓迎です。



5月号の表紙は、田植え作業です。(一社)日本穀物検定協会による令和2年度産米の食味ランキングで、近江米「コシヒカリ」が2年連続の特A評価を受賞したことは記憶に新しいと思います。滋賀県の主力品種であるコシヒカリは、県内栽培面積のうち35%以上の作付けを誇り、本県以外の地域においても多数栽培されている中の特A評価となりました。米の産地としての信頼を高められ、汗を流して頑張っていただいた農家の皆さんに敬意を表すとともに、「近江米」の素晴らしさを今後「EひとつEひとつ」でお伝えできればと考えています。



Contents

- 4 特集
農産物直売所
 × FamilyMart

強みを組み合わせ『三方よし』へ

6 今日からはじめる 家庭菜園

8 ピックアップ! 地域のEすとニュース

10 あつまれ 地域のEひと

12 スタッフルーム

14 旬の野菜おいしさ伝え隊
おすすめレシピ